

2006年5月吉日

関係団体様

神奈川県聴覚障害者老人ホーム準備委員会
委員長 小海 秀純

神奈川県聴覚障害者老人ホーム建設運動の方針転換について（周知）

謹啓 時下、貴団体におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当準備委員会の活動に多大なご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私たちは、4年前から聴覚障害者が安心して暮らせる老人ホーム建設を目指して運動をすすめ、貴団体にも協力をお願いして参りました。

しかし、運動を始めた時からこれまでの間に、私たちの運動を取り巻く状況が非常に大きく変化しました。

まず、制度改正による国の補助金や公的な貸付金の減少により、必要な自己資金が当初の計画の3倍以上に膨らんでしまいました。

また、介護保険法の改正により、特別養護老人ホームの経営は一段と厳しくなり、施設が出来ても、安定的な経営のためには介護度の重い老人を多く受け入れざるを得なくなることが予想され、高齢聴覚障害者が手話で安心して明るく生活できる老人ホームという、当初私たちが期待していたものからはかけ離れたものになってしまう可能性が高くなりました。

このような状況の中でこれから運動をどう進めて行くか、準備委員会において協議した結果、あくまでも私たちの最終的な目標である「高齢聴覚障害者が安心して暮らせる場所」の実現を目指して運動を続けて行くが、その具体的な方法としては、これまでの特別養護老人ホーム建設の方針を転換し、他の方法を検討して行くことを決定しました。

そして、特別養護老人ホーム建設募金については、老人ホーム建設に代わる具体的な方法と計画が策定されるまで、一時休止させていただくことになりました。

今後、早急に新たな方針の策定を進め、今年の9月頃までには決定したいと考えております。

貴団体におかれましてもこの方針転換についてご理解いただき、新たな方針が策定されるまで募金活動を一時休止して下さるようお願いいたします。

なお、ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、事務局までご連絡願います。

いろいろとご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

謹白

問合せ先：事務局 河原

FAX 0466-26-5454

TEL 0466-27-9124

E-mail VI4M-KWHR@asahi-net.or.jp